

発見!  
市民活動ナビ No.7  
固市民連携推進課 ☎43-9207

手話を使って  
誰とも楽しくお話してみよう!  
「八戸市手話サークルこすもす」

昨年、市では手話言語条例制定5周年を迎え、手話への関心が高まっている中で、手話による交流活動を行っている「八戸市手話サークルこすもす」の会長 かみやまのりこ 神山典子さんにお話を伺いました。

団体の紹介

手話の存在を知っていても、実際にろうあ者に会うと尻込みしてしまう人は多いのではないのでしょうか。手話サークルこすもすは、手話を使った交流を通して、手話やろうあ者のことを理解してもらうことを目的に、昭和47年から活動しています。手話を知ると、会話ができるようになるだけでなく、自身の言語の幅も広がっていきます。

活動を続けていくことで、英語を使う人に英語であいさつするように、手話を使う人に手話であいさつすることが当たり前な八戸市になってほしいと思います。



活動紹介

指文字しりとりや手話を使って出題・回答するクイズをしたり、手話でお話したりと、みんなで教え合いながら楽しく交流しています。また、イベントにも参加しており、手話案内のボランティアとしてうみねこマラソンに参加したほか、七夕まつりでは手話コーラスを披露しました。

活動の様子はいつでも見学可能ですので、興味がありましたらぜひお越しください！

- 活動日 毎週(火)10:00~12:00、19:00~21:00
- 活動場所 福祉公民館



サークルの皆さんにお話を伺いました

聞こえる人も聞こえない人も関係なくお話ができたらいいなと思って始めました。決まった手話がない単語や言葉は、伝わるように他の手話を組み合わせるため、人によって表現方法が違うところが面白いと思います。

母が手話を始めたのがきっかけですが、将来手話が役に立つのではないかと思い勉強しています。興味のある人は手話を始めてみてほしいです。

8年に県内で開催される、全国障がい者スポーツ大会のボランティアをしたいと勉強している人もいます。興味のある人は、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



次回は11月号に掲載!

